

主要品目産地概況と販売見通し（令和5年11月）

△強い ▲強保合 =保合 ▼弱保合 ▽弱い

単位：円/kg

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価（前年）
はくさい	¥ 115	¥ 80	▲	=	▼	¥ 80 ( ¥ 81 )
	産地概況		長野産、茨城産、石川産の入荷。長野産は上旬にて終了見込み。茨城、石川産については、猛暑の影響から、やや生育遅れ気味ながら今後は回復してくる見通し。順調な入荷見込み。			
	総入荷量		340 t	前年比		103 %
キャベツ	¥ 118	¥ 125	▲	▽	▽	¥ 95 ( ¥ 90 )
	産地概況		愛知産を主力に、県内・茨城産の入荷。各産地共に猛暑の影響でやや出遅れ気味であるが、中旬以降は回復を予想する。			
	総入荷量		320 t	前年比		110 %
ねぎ	¥ 600	¥ 450	▼	▼	▼	¥ 350 ( ¥ 280 )
	産地概況		石川・埼玉・群馬産の入荷。北海道産は終了見込み。各産地高温の影響で出荷が平年より少ない見込み。			
	総入荷量		65 t	前年比		93 %
ほうれん草	¥ 800	¥ 700	▽	▼	▼	¥ 650 ( ¥ 427 )
	産地概況		県内・岐阜・静岡・北関東・福岡からの入荷。岐阜産は中旬まで、福岡産は下旬より予定している。順調な入荷を予想する。			
	総入荷量		62 t	前年比		101 %
小松菜	¥ 442	¥ 300	▽	▼	▼	¥ 260 ( ¥ 240 )
	産地概況		県内産・北関東産の入荷。両産地共に順調な入荷を予定している。			
	総入荷量		55 t	前年比		105 %
アスパラガス	¥ 1,400	¥ 1,400	▼	▼	▼	¥ 1,100 ( ¥ 1,048 )
	産地概況		メキシコ産を主にオーストラリアの入荷。安定した入荷見通し。			
	総入荷量		6 t	前年比		100 %

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価 (前年)

ブロッコリー	¥ 580	¥ 580	▼	▼	=	¥ 530 ( ¥ 513 )
	産地概況		石川県産を主に長崎県産の入荷。石川県産は中旬頃にピークを迎える見通し。			
	総入荷量		150 t	前年比		103 %
レタス	¥ 210	¥ 300	=	▼	▼	¥ 220 ( ¥ 219 )
	産地概況		茨城県産を主に兵庫県産・長崎県産の入荷。中旬以降より数量・価格は落ち着きを見せる見通し。			
	総入荷量		100 t	前年比		120 %
生椎茸	¥ 1,050	¥ 1,020	▼	=	=	¥ 1,000 ( ¥ 952 )
	産地概況		石川県産中心に、徳島県産、富山県産、兵庫県産、長野県産の入荷。石川県産に関しては、気温の低下に伴い、発生がよくなり増加傾向。他産地に関しても、順調な入荷予定。価格は、弱保合見込。			
	総入荷量		40 t	前年比		154 %
しめじ	¥ 561	¥ 590	=	▼	=	¥ 253 ( ¥ 611 )
	産地概況		JA全農長野物を中心に、企業物（ホクト・ミスズ・雪国）の入荷。JA全農長野物は、季節生産者の出荷も始まり、フル生産。しかし、廃業した生産者もあり、昨年より入荷減少。企業物も、電気料金・資材費等々の上昇により、再生産価格優先の販売となるため、価格は強含みを見込む。			
	総入荷量		34 t	前年比		102 %
えのき	¥ 267	¥ 280	=	▼	=	¥ 231 ( ¥ 295 )
	産地概況		長野県産の入荷。電気・資材費等々の値上げに伴い、半月程出遅れていたが、フル生産に向かい徐々に入荷増。しかし、減産や廃業者もあり、アイテムによってタイトな場面も予想される。需要期に入るため、価格は、強含みで推移する見込み。			
	総入荷量		80 t	前年比		109 %

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価(前年)
大葉	¥ 2,899	¥ 2,850	▼	=	▲	¥ 2,750 (¥ 2,737)
	産地概況		愛知県豊橋温室から入荷。冷え込みから潤沢な数量とは言えないが、全国的には促成ものの需要は活発にはならず、特に北陸市場ではカニの解禁もあり、弱めの相場展開となる。			
	総入荷量		4.2 t		前年比 103 %	
春菊	¥ 1,131	¥ 921	▼	=	=	¥ 700 (¥ 653)
	産地概況		石川産金沢春菊の金沢中央及び諸江地区を中心とした個人物の入荷。群馬産館林農協からの入荷を中心とした販売。各産地例年並みの入荷。見込む。			
	総入荷量		7 t		前年比 100 %	
南瓜	¥ 235	¥ 360	=	▲	▼	¥ 360 (¥ 223)
	産地概況		北海道産及び輸入(メキシコ、ニューカレドニア)産の入荷。北海道産中旬まで入荷しメキシコ、ニューカレドニア産については25日頃からのスタート。価格は高値基調で推移する見通し。			
	総入荷量		52 t		前年比 113 %	
胡瓜	¥ 444	¥ 420	▼	▼	▲	¥ 360 (¥ 302)
	産地概況		高知県産主体に群馬、愛知、石川県産の入荷。秋冬露地野菜の出回りが増加する見込みから、果菜の売り場も狭まり価格は徐々に下がる見込み。			
	総入荷量		220 t		前年比 96 %	
茄子	¥ 396	¥ 415	▼	=	▼	¥ 350 (¥ 334)
	産地概況		高知県産中茄子、熊本、福岡県産長茄子の入荷。各産地概ね順調な入荷予想から、価格も段階的に下がる見通し。			
	総入荷量		90 t		前年比 108 %	
トマト	¥ 766	¥ 800	=	▼	▽	¥ 500 (¥ 429)
	産地概況		石川県産JA金沢市・小松市・松任、愛知県産JA豊橋・ひまわり・愛知みなみ主力に熊本県産商系の入荷。8~9月の猛暑の影響で11/上まで品薄。11/中以降、愛知・熊本県産が出揃い高値反動から日々、価格は下落を見込む。			
	総入荷量		130 t		前年比 82 %	
ミニトマト	¥ 1,226	¥ 1,200	▼	▼	▼	¥ 850 (¥ 772)
	産地概況		愛知県産主体に熊本、高知の入荷。猛暑の影響も徐々に抜け、安定した出荷に変わっていく見込み。			
	総入荷量		58 t		前年比 113 %	

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価 (前年)

ピーマン	¥ 656	¥ 650	▼	▼	=	¥ 450 (¥ 417 )
	産地概況		高知県産主体に鹿児島県産の入荷。気温推移の状況にも左右されるが、中旬までは順調に増えて全体的に安定した入荷となる見込み。			
	総入荷量		58 t	前年比		105 %
豆類	¥ 1,256	¥ 1,400	=	=	▼	¥ 1,100 (¥ 989 )
	産地概況		インゲン（高知、鹿児島県産）の入荷。きぬさや、エンドウ（鹿児島、愛知県産）中旬頃からを入荷。砂糖エンドウについては愛知県産下旬ごろからを予定。			
	総入荷量		13 t	前年比		118 %

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価 (前年)
大根	¥ 141	¥ 125	▼	▼	▼	¥ 95 (¥ 91 )
	産地概況		月前半は石川産、後半は千葉産主力の入荷となる。			
	総入荷量		450 t		前年比 97 %	
かぶ	¥ 243	¥ 293	▼	▼	▼	¥ 160 (¥ 138 )
	産地概況		石川産主力の入荷。上旬より共販も開始。順調な入荷予定。			
	総入荷量		55 t		前年比 93 %	
人参	¥ 210	¥ 197	▼	▼	▼	¥ 150 (¥ 118 )
	産地概況		上旬は北海道産主力、10日頃より石川、富山産、15日以降に岐阜産の入荷予定。平年に比べ北海道の残量が少なく、高値で推移しているが、後続産地が出そろい単価は下げ見込み。			
	総入荷量		210 t		前年比 84 %	
蓮根	¥ 545	¥ 530	▼	=	=	¥ 520 (¥ 498 )
	産地概況		石川産中心に茨城・愛知産の入荷。各産地太物中心に順調な入荷を見込む			
	総入荷量		70 t		前年比 109 %	
甘藷	¥ 300	¥ 300	=	=	=	¥ 300 (¥ 300 )
	産地概況		石川産中心に茨城・千葉産の入荷。掘り込み作業も一段落し順調な入荷を見込む			
	総入荷量		175 t		前年比 102 %	
馬鈴薯	¥ 125	¥ 125	=	=	▼	¥ 120 (¥ 106 )
	産地概況		北海道産の入荷。猛暑・暖秋の影響から発芽トラブル多発し、生産地側は厳選出荷を行っている。そういうこともあり、出荷ペースは遅い。各産地計画的な順調出荷を見込んでいる。			
	総入荷量		300 t		前年比 100 %	
長芋	¥ 520	¥ 530	=	=	▼	¥ 500 (¥ 337 )
	産地概況		北海道・青森産の入荷。両産地共に令和5年産新物となるが豪雨被害により数量が少なかった4年産に比べると順調な仕上がり見込み。入荷は北海道産は第2週目後半、青森産は下旬の予想。			
	総入荷量		45 t		前年比 93 %	

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価 (前年)

玉葱	¥ 105	¥ 115	▲	▲	=	¥ 120 (¥ 97 )
	産地概況		北海道産の入荷。生育期の猛暑の影響により反収上がらず、シーズン当初は平年並の出回りが見込まれたが全道で出荷量下方修正されており平年に比べて数量は少なく単価上昇が続く予想。			
	総入荷量		650 t	前年比		95 %

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価 (前年)
みかん	¥ 260	240	▲	=	▼	¥ 260 (¥ 241 )
	産地概況		今年度から山川選果場から8kと4kでの出荷計画となっている。今年度は九州地区は表年であり小玉傾向で進んでいる。			
	総入荷量		1,100 t	前年比		10 %
柿	¥ 326	¥ 320	▲	=	=	¥ 331 (¥ 256 )
	産地概況		岐阜、奈良産富有柿、和歌山、奈良産平タネ柿、石川産紋平柿の入荷。各産地高温等の影響により昨年に比べ数量減の見通し。			
	総入荷量		190 t	前年比		98 %
莓	¥	¥ 5,000	▽	▼	▼	¥ 1,667 (¥ 2,008 )
	産地概況		愛知産は中旬頃、長崎、鹿児島産は下旬頃からの入荷見通し。ほぼ昨年並みの入荷見通し。			
	総入荷量		12 t	前年比		132 %
メロン	¥ 827	¥ 690	▲	▲	▲	¥ 880 (¥ 887 )
	産地概況		静岡産主力に高知。長崎、熊本、茨城産の入荷。各産地徐々に増加の見込み。価格は昨年並みと予想される。			
	総入荷量		20 t	前年比		101 %
りんご	¥ 242	¥ 282	=	=	=	¥ 278 (¥ 245 )
	産地概況		長野県産、青森県産サンふじが中旬頃より入荷見通し。高温の影響もあり昨年より数量減の見通し。			
	総入荷量		180 t	前年比		102 %
ぶどう類	¥ 1,600	¥ 1,600	▲	▲	▲	¥ 1,600 (¥ 1,400 )
	産地概況		長野県産のシャインマスカットの貯蔵品の販売が開始。種無し巨峰は終了予定			
	総入荷量		8 t	前年比		100 %
洋なし	¥ 500	¥ 500	▲	▲	▲	¥ 500 (¥ 325 )
	産地概況		10月上旬の強風の落下被害と凍霧害があった為令和3年産の出荷計画となっている。			
	総入荷量		45 t	前年比		70 %

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価 (前年)
バナナ	¥ 182	¥ 188	▲	▲	=	¥ 189 (¥ 179 )
	産地概況		フィリピン産は順調な入荷を見込む。但し一部のハイランド系商品で品薄のため代替え対応を継続。南米産は安定し入荷でハンド中心の販売。価格は保合で推移。			
	総入荷量		1,230 t		前年比 94.0 %	
オレンジ	¥ 288	¥ 300	▲	▲	=	¥ 311 (¥ 302 )
	産地概況		オーストラリア産はネーブルからバレンシア中心の販売となる。入荷は安定を見込むも、バレンシアの価格がネーブルを上回る相場で、販売は鈍いと予想される。			
	総入荷量		29 t		前年比 85.0 %	
グレープフルーツ	¥ 165	¥ 168	▲	▲	▲	¥ 220 (¥ 217 )
	産地概況		南アフリカ産からメキシコ産の入荷。ルビー種40玉、45玉中心の販売で、価格は南アフリカ産より高値で推移。次のイスラエル産の入荷まで品薄状態が続く。			
	総入荷量		24 t		前年比 75.0 %	
レモン	¥ 351	¥ 355	▲	=	=	¥ 360 (¥ 350 )
	産地概況		チリ産の入船も終了しアメリカ産の入荷までは在庫販売となる。品薄状態が続くため、他産地の集荷も同時に行う。価格は高値が予想される。			
	総入荷量		68 t		前年比 85.0 %	
パイナップル	¥ 248	¥ 240	=	▲	▼	¥ 200 (¥ 172 )
	産地概況		フィリピン産は11月中旬より回復の見込み。高熟度系が増えてくる。ドールのF200パイナップルの入荷は減少しスウィーティオパイナップルが回復すると予想される。			
	総入荷量		47 t		前年比 100.0 %	
パイナップル	¥ 565	¥ 571	=	=	=	¥ 572 (¥ 564 )
	産地概況		ニュージーランド産はグリーンキウイの入船も終了し在庫販売となる。サイズは充足するも、品質に留意しながら12/初までの見通し。その他は、韓国産の取扱いや国内キウイの販売もスタートする。			
	総入荷量		50 t		前年比 90.0 %	